

(1)イベントの名称 定例イベント(創作体験、講座、企画イベント等)	
(2)コンセプト 自然物を使った創作体験や講座、展示など様々な方法で自然に親しむ機会を作る。	
(4)年間実施回数 305回	
(4)イベントの内容及びその効果	
内容	効果
創作体験 「いつでもつくれるコーナー」 他施設出前 等 実施回数121回	もの作りを通して自然物に触れたり、よく見たり、自然物に親しんだりすることができる。 土日祝日や夏休みにいつでもつくれるコーナーを設置することで、たくさんの人に気軽に参加してもらえる。 他施設に出向いて響の森の活動を広く知ってもらう。
親子自然研究クラブ 自然観察や生き物調査 実施回数9回	継続して観察会等を行い、参加者と深く関わりながら指導でき、子どもたちの興味、関心を伸ばすことができる。
ワークショップ 焼き火・焼き芋、ブックカフェ 味噌づくり 実施回数4回	野外活動での技術や楽しみを知ってもらう。 自然の恵みを活かした田舎体験を通して、自然や地元に親しむきっかけにする。
ネイチャーキッズフェス 森の縁日コーナー、 クライミングウォール 等 実施回数81回	自然物で楽しめる縁日コーナー等を開催し、小さな子どもがいる家族でも参加しやすくする。 シーズン初めに楽しく・興味を引く内容で開催し、継続しての来館や自然体験プログラムへの参加につなげる。
夏休み特別企画等 実施回数46回	氷ノ山の自然等をテーマとして取り上げ、外部講師や関係機関と連携して、展示や講演会、ワークショップ等を開催する。
秋の特別企画等 実施回数44回	氷ノ山の自然等をテーマとして取り上げ、外部講師や関係機関と連携して、展示や講演会、ワークショップ等を開催する。
(5)イベントの実施に係る経費 約 2,000,000 円(うち第 3 者に委託して実施するもの 1,400,000 円)	
(6)イベントの実施により見込まれる集客数 約 17,800 人	



【親子自然研究クラブ ヘビの観察】



【夏休み特別企画】



(1)イベントの名称 地域連携事業・クルー共働事業	
(2)コンセプト 地元イベントへの協力等を積極的に行い、地域や地元住民との連携をより深める。 様々な技能やアイデアを持ったボランティア(クルー)が関わることによって設置目的実現のために多種多様な活動ができる。そのための環境整備を行う。	
(4)年間実施回数 11回	
(4)イベントの内容及びその効果	
内容	効果
棚田プロジェクト ・田植え、草刈り、稲刈り体験 ・棚田の生き物観察  実施回数4回	地場産業や食育、生物多様性等棚田の持つ機能への理解を深めてもらう。
協賛・共催イベント ・山フェス及び夏山開き ・地元小学生などの作品展  実施回数3回	地元のイベントを盛り上げる。 地元団体等からイベント等の共催依頼が来た場合に柔軟に対応する。 地域の活性化に繋がる。
地域イベントへの参加 地元開催のイベントへの出店等。	地域イベントへ参加することで地元との連携を深める。 地域の人たちと交流を深める。
クルーのイベントの協力  実施回数4回	クルーのアイデアや技能を生かして多様なイベントを行うことができる。 クルーが関わることで参加者へきめ細やかな対応が可能となる。
クルーのその他の活動  イベント運営補助、氷ノ山の自然やイベントの写真撮影等  クルーの資質向上のため、必要に応じて勉強会を行う。	活動内容を指定しないことで自由な発想が期待できる。 様々な活動を受け入れることで自分にあった活動を行うことができ、どんな人でもクルー活動を行うことができる。
(5)イベントの実施に係る経費 約 720,000 円(うち第 3 者に委託して実施するもの 680,000 円)	
(6)イベントの実施により見込まれる集客数 約4,100 人	



【棚田プロジェクト 草取り】



【クルー活動 水槽の掃除】



## キ 令和6年度定例イベント年間スケジュール

月	日	イベント名	参加料(予定)
4	6(土)~6/30(日)	いつでもつくれるコーナー「生き物プラバン」	200円
	13(土)	親子自然研究クラブ「イモリ調査」	300円※1
	21(日)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
	27(土)~5/6(月祝)	ネイチャーキッズフェス	-
5	11(土)	スペシャル観察会「野鳥観察」	300円
	18(土)	親子自然研究クラブ「ハビの観察」	300円※1
	19(日)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
	25(土)	棚田プロジェクト「田植え」	700円
6	2(日)	大人の趣味シリーズ	1,000円
	9(日)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
	15(土)	親子自然研究クラブ「棚田の生き物観察」	300円※1
	16(日)	棚田プロジェクト「草取り」	700円
	22(土)~23(日)	スペシャル観察会「響の森ナイトミュージアム」	2,000円
7	6(土)~8/31(土)	いつでもつくれるコーナー「森の木バッジ作り」	300円
	13(土)~8/25(日)	夏休み特別企画	-
	21(日)	川のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
	27(土)	親子自然研究クラブ「磯の生き物観察」	300円※1
8	3(土)	スペシャル観察会「昆虫観察」	500円
	10(土)	親子自然研究クラブ「ザトウムシの観察」	300円※1
	10(土)~12(月)	お盆企画創作体験「昆虫を作ろう」	300円
	18(日)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
9	1(日)~10/27(日)	いつでもつくれるコーナー「キノコのキーホルダー」	300円
	7(土)	親子自然研究クラブ「川の生き物観察会」	300円※1

※1 親子自然研究クラブ … 参加料とは別に初回のみ登録料 500円

※2 「いつでもつくれるコーナー」は土日・祝日、夏休み期間中開催

※3 追加するイベントは適正な料金を設定し実施します。

※4 イベントは出演者、講師等の予定により変更になる場合があります。

※5 イベント参加料は、材料の仕入れ価格等の変動により変更する場合があります。



5 利用促進、サービス向上

月	日	イベント名	参加料(予定)
9	8(日)	御来光登山	2,500円
	15(日)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
	21(土)	インタプリターがサポート「氷ノ山登山初級編」	1,500円
	22(日)	棚田プロジェクト「稲刈り」	700円
	29(日)	大人の趣味シリーズ	1,000円
10	5(土)~11/24(日)	秋の特別企画	-
	5(日)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
	6(日)	親子自然研究クラブ「化石調査」	300円※1
	19(土)	スペシャル観察会「キノコの観察」	500円
	20(日)	紅葉の扇ノ山登山	1,500円
	26(土)	青空ブックカフェ	-
	27(日)	棚田プロジェクト「収穫祭」	2,000円
11	2(土)~12/22(日)	いつでもつくれるコーナー「クリスマス飾りづくり」	200円~
	2(土)	親子自然研究クラブ「巣箱調査」	300円※1
	10(日)	大人の趣味シリーズ	1,000円
	17(日)	焚き火・焼き芋ワークショップ	800円
	23(土祝)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
12	1(日)	手仕事講座「味噌づくり」	1,800円
	15(日)	森のようちえん+(プラス)	大人 600円 小人 300円
1	5(日)	おためしスノーシュー	大人 1,500円 小人 1,000円
	11(土)	おためしスキートレッキング	大人 1,500円 小人 1,000円
	12(日)	雪と遊ぼう	大人 1,500円 小人 800円
	18(土)	森のようちえん(雪バージョン)	大人 1,000円 小人 500円
	19(日)	スノーシューハイク	大人 3,000円 小人 2,000円
	25(土)	親子自然研究クラブ「冬の自然観察」	300円※1
	26(日)	ネイチャースキートレッキング	大人 3,000円 小人 2,000円

※1 親子自然研究クラブ … 参加料とは別に初回のみ登録料 500円

※2 「いつでもつくれるコーナー」は土日・祝日、夏休み期間中開催

※3 追加するイベントは適正な料金を設定し実施します。

※4 イベントは出演者、講師等の予定により変更になる場合があります。

※5 イベント参加料は、材料の仕入れ価格等の変動により変更する場合があります。



## 5 利用促進、サービス向上

月	日	イベント名	参加料(予定)
2	2(日)	おためしスノーシュー	大人 1,500 円 小人 1,000 円
	9(日)	スノーシューハイク	大人 3,000 円 小人 2,000 円
	15(土)	ネイチャースキートレッキング	大人 3,000 円 小人 2,000 円
	16(日)	雪と遊ぼう	大人 1,500 円 小人 800 円
	22(土)	夜の森スノーシューハイク	3,000 円
	24(月祝)	森のようちえん(雪バージョン)	大人 1,000 円 小人 500 円
3	2(日)	冬山登山にチャレンジ	4,800 円
	8(土)	スノーシューハイク	大人 3,000 円 小人 2,000 円
	9(日)	ネイチャースキートレッキング	大人 3,000 円 小人 2,000 円

- ※1 親子自然研究クラブ … 参加料とは別に初回のみ登録料 500 円  
 ※2 「いつでもつくれるコーナー」は土日・祝日、夏休み期間中開催  
 ※3 追加するイベントは適正な料金を設定し実施します。  
 ※4 イベントは出演者、講師等の予定により変更になる場合があります。  
 ※5 イベント参加料は、材料の仕入れ価格等の変動により変更する場合があります。

### (3) 自主事業

(1)事業名 売店営業	
(2)事業内容 登頂記念バッジ・登山グッズ・地元作家の作品・響の森オリジナルグッズなどを販売	
(3)事業実施の目的及び効果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷ノ山の記念になるものが欲しいという利用者のニーズに応えます。</li> <li>・野外活動に必要な商品や図書を提供します。</li> <li>・氷ノ山の記念品をおみやげにすることで、氷ノ山のことを知ってもらう機会が増えます。</li> </ul>	
(4)収支計画	
ア 収入見込	150,000円
(内訳)	
売店営業収入	150,000円(委託販売を含む)
イ 支出見込	118,000円
(内訳)	
消耗品費	1,000円
材料費	115,000円
通信運搬費	2,000円



## (4) 利用者等の要望の把握及び対応方針

- ・利用者等の要望や不満を把握し、施設の運営に反映することで満足度の向上に努めます。
- ・利用者とのコミュニケーションをより良くし、気軽に要望や苦情を伝えやすい環境作りに努めます。

### ア 実施内容

対象	方法	内容
利用者	日常のヒアリング	職員が気持ちの良いコミュニケーションを心がけ、入館者に声掛けを行って、アンケート用紙への記入では難しい、要望や不満の細やかな把握を行います。
	館内アンケート	館内 2 か所にアンケート用紙と投函箱を設置し、要望や不満の把握に努めます。また、住所や年齢、来館のきっかけ等も情報収集、集約して広報や営業活動への参考とします。投函箱は毎日開封し、迅速な対応を行います。
	クチコミサイト等	google マップ等のクチコミサイトをチェックし、要望や不満を把握するとともに適正に回答します。
	イベントアンケート	イベントの開催時にアンケートを行い、住所や年齢、イベントを知ったきっかけ及びイベントの満足度や時間、参加費・時間等への感想や意見を伺います。住所や年齢等は広報や営業活動の参考にします。イベント内容への感想等は、次回以降に実施する際の改善に活用します。
	リクエスト利用団体アンケート	団体引率者等にリクエストプログラム終了時にアンケートを行い、団体活動のねらいとプログラム内容の整合性や参加者の様子、感想等を把握し、次回以降の改善に活用します。
職員	実施報告書	自然体験プログラムを実施した担当者は、実施概要や問題点、参加者の様子や気がついたこと等を報告書としてまとめ、職員で供覧して情報を共有するとともに意見交換を行い、改善に努めます。
第三者	ヒアリング	評議員会や理事会、他施設の学芸員や観察会等の講師、響の森クルー（ボランティア）などから適正な施設運営や魅力あるプログラムの企画実施について助言、提言を随時いただき、さらに魅力向上を図り、利用促進に繋がります。

### イ 対応方針

- ・利用者等からの要望については、課題の優先度と緊急性を検討して優先順位をつけて対応いたします。軽微な案件は、即時対応します。
- ・検討を要する案件は、関係機関とも十分協議のうえ対応します。
- ・重要な案件については、速やかに鳥取県に報告します。
- ・来館者やイベント参加者のデータについては、営業・広報戦略の立案等の集客に活用します。



## 6 事故・事件の防止措置と緊急時の対応等

### (1) 火災・盗難・災害などの事故・事件の防止（防災）対策

#### ア 事故・事件を起こさない対策

- ・施設や設備の日常点検を行います。不具合が見つかった場合、規模や危険度に応じて対応の優先順位をつけます。
- ・軽微な案件はただちに修理等の対応を取り、規模が大きい等によりただちに修理が困難な場合は、立ち入り禁止措置を取って入館者が危険にさらされないようにしてから修理等対応します。
- ・職員は危険予知トレーニング等を行い、安全管理能力の向上に努めます。
- ・職員は常に利用者へ目を配り、緊張感を保ちつつゆとりを持って冷静に対応します。
- ・自然体験プログラムの実施にあたっては、参加者に注意を促すとともにアルバイトを含め極力複数の職員が対応し、不慮の事故・ケガの発生を未然に防ぐよう努めます。

#### イ 事故・事件発生時の対応

万が一の事故・事件等の発生時に適切に対処できるよう、次の通りとします。

- ・緊急時の連絡体制や対応マニュアルを整備し、職員へ周知徹底します。
- ・職員は救急法の受講や防災訓練などをおこない、緊急時に落ち着いて適切に対処できる技術と心構えを備えます。
- ・保険に加入し、被災者には誠意を持って対処します。
- ・必要に応じて消防・警察等への通報や県、町、関係機関へ報告します。また、できる限り速やかに公表を行います。個人情報保護や警察の捜査上の要請、その他特別の事情がある場合は除きます。

### (2) 緊急時の体制・対応

#### ア 傷病者等発生時の対応

##### 1) 軽症の場合

- ・本人が望んだ場合は、施設備え付け(携行)の救急箱で対応します。
- ・心配な場合は、最寄りの病院を紹介するとともに家族へ連絡します。

##### 2) 軽症でない場合

- ・日本赤十字社救急法救急員の資格を有する職員が応急手当を施します。
- ・早急に救急(119番)に通報し、家族等へも連絡します。

#### イ 暴力事件等発生時の対応

- ・現場に直行し、被害者、加害者の状況確認を行い、事務所に連絡します。
- ・状況に応じて119番、110番通報します。
- ・心肺停止の際はAEDを使用します。
- ・二次被害が懸念される場合は来館者を避難誘導します。



### ウ 不審者事案等発生時の対応

- ・現場に直行し、被害者、加害者の状況確認を行い、事務所に連絡します。
- ・著しく他の入館者に迷惑をかける恐れがある場合は、入館を拒否します。
- ・乱入又は暴れた場合は、110番通報します。
- ・他の入館者の安全を脅かす可能性がある場合は、入館者を避難誘導します。

### エ 不審物事案等発生時の対応

- ・開封前の不審物の場合は、移動等を行いません。
- ・バリケード等を設置し、不審物から一定の距離を保つようにします。
- ・110番通報し、警察の指示に従い避難誘導を行います。
- ・危険という警察の判断があった場合、速やかに臨時閉館します。

### オ 火災発生時の対応

- ・火災感知器の作動や通報があれば現場を確認するとともに入館者に待機を案内します。
- ・誤報であれば入館者に案内するとともに機器の復旧処理を行います。
- ・火災であれば初期消火を行います。
- ・初期消火にできなかった場合は119番通報するとともに入館者の避難誘導を行います。

### カ 地震発生時の対応

- ・入館者を落ち着かせ、柱や壁際など安全な場所で待機させます。
- ・揺れが収まったのちに避難誘導します。
- ・エレベーターに閉じ込められた方がいないか確認します。
- ・火気設備器具の元栓を閉める等して出火防止策を取ります。

### キ 停電発生時の対応

- ・事務室より懐中電灯を持ち出して、入館者をエントランスホールに誘導します。
- ・エレベーターに閉じ込められた方がいないか確認します。
- ・復旧までに長時間を要する場合は、来館者に状況を説明し閉館します。

### ク 風水害等発生のおそれがある時の対応

- ・テレビ、防災無線などにより情報を収集します。
- ・道路の通行が困難になることが予想される場合は、閉館し入館者に帰宅を促します。
- ・道路の通行が危険だと判断される場合は入館者に待機を勧め、安全確認後の帰宅す

### ク 入館者トラブル・苦情等への対応

#### 1) 未然防止の措置

- ・接遇研修等により、職員のホスピタリティの向上に努めます。
- ・職員は積極的に入館者との対話を心がけ、イメージアップを図ります。
- ・不当要求防止責任者は必要な講習を受けます。

#### 2) 発生時の対応

- ・他の入館者に迷惑等かけるおそれが入館者へは複数の職員にて対応します。
- ・暴力行為や危険物等を所持している場合は、警察へ通報します。
- ・苦情等については、不当要求防止責任者が対応します。



## (3) 保険加入の考え方と加入内容

## ア 考え方

- ・施設及び区域内での利用者の事故等に対応するため、施設賠償責任保険及び傷害保険に加入します。
- ・野外でのイベント参加者等の事故等に対応するため、施設賠償責任保険及び傷害保険に加入します。

## イ 保険の加入内容

対象	野外		施設及び区域内	
	傷害賠償	賠償責任補償	傷害賠償	賠償責任補償
学校行事	(学校側にて加入)	①	②	①
その他団体	③	①	②	①
個人	③	①	②	①

注)①:施設賠償責任保険 ②:施設入場者傷害保険 ③:参加者傷害補償

補償内容は次の通りです。

## ①施設賠償責任保険

- |              |                            |
|--------------|----------------------------|
| a 対人賠償限度額    | 5,000万円(1名につき) 3億円(1事故につき) |
| b 対物賠償限度額    | 1,000円(1事故につき)             |
| c 免責各々1事故につき | 0円                         |

## ②施設入場者傷害保険

- |               |               |
|---------------|---------------|
| a 死亡・後遺障害保険金額 | 238万円(1名につき)  |
| b 入院保険金日額     | 2,000円(1名につき) |
| c 通院保険金日額     | 1,300円(1名につき) |

## ③参加者傷害補償

春～秋

- |               |               |
|---------------|---------------|
| a 死亡・後遺障害保険金額 | 700万円(1名につき)  |
| b 入院保険金日額     | 8,000円(1名につき) |
| c 通院保険金日額     | 4,000円(1名につき) |

シャワークライミング及び冬

- |               |               |
|---------------|---------------|
| a 死亡・後遺障害保険金額 | 200万円(1名につき)  |
| b 入院保険金日額     | 2,000円(1名につき) |
| c 通院保険金日額     | 1,300円(1名につき) |

ボランティア登録者はボランティア活動保険に加入します。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| a 死亡・後遺障害保険金額 | 1,040万円(1名につき) |
| b 入院保険金日額     | 6,500円(1名につき)  |
| c 通院保険金日額     | 4,000円(1名につき)  |